

【東京】

射抜く矢に わく歓声 町田時代祭り 流鏝馬など披露

2010年11月29日

町田市の町田駅周辺で28日、同市観光コンベンション協会などが主催する「町田時代祭り」(東京新聞立川支局など後援)が初めて開かれ、武者行列や流鏝馬(やぶさめ)、居合抜刀や砲術などの古武術の演舞が行われた。

流鏝馬の会場となった同市原町田の芹(せり)ヶ谷公園には約5000人の観客が詰め掛けた。国内外で流鏝馬や古武術を伝える活動をしている全日本戸山流居合道連盟(同市)の騎馬隊員12人が狩り装束に身を包み、馬を疾走させながら4メートル離れた的に矢を放った。30センチ角の的に矢が命中するたび、観客から歓声と拍手が上がった。

今回のイベントは、市内在住の同連盟会長で刀剣匠(しょう)の旗谷(はたや)嘉辰(よしとき)さん(61)が旗振り役となり開催された。旗谷さんは、「町田に来て30年になったが、多くの人に楽しんでもらえて良かった」と話していた。(加藤益丈)



馬上から矢を放つ旗谷さん＝町田市の芹ヶ谷公園で

東京新聞 Web 版

2010年11月29日(月)掲載